

平成26年 1月24日

参 考 資 料

(県政・相模原・平塚・藤沢・厚木・大和記者クラブ、町田記者会同時発表)

### 第3回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会の開催結果について

本日、次のとおり標記協議会が開催されましたのでお知らせします。

- 1 日 時 平成 26 年 1 月 24 日 (金) 10 時 00 分 ~ 11 時 00 分
- 2 場 所 横浜第 2 合同庁舎 1 階 共用第 2 会議室 (横浜市中区北仲通 5-57)
- 3 出席者 防衛省南関東防衛局長、県副知事及び厚木飛行場周辺 9 市副市長等
- 4 結果概要

#### (1) 国からの説明

##### ア 厚木飛行場からの空母艦載機の移駐に係る進捗状況について

既海兵隊部隊地区の施設整備が完了し、米側に提供することが 1 月 23 日の日米合同委員会で合意された。

「空母艦載機の移駐等に関する事業推進チーム」設置による効果について、次の事例が説明された。各工事毎の進捗状況に応じ業者間で作業員を補填できるように調整させるなど、事業全体の進捗管理に努めるとともに、見積活用方式を採用し、入札不調が減少するよう対応を行っている。

なお、同チーム設置に伴う副次的効果として米軍内でも在日米軍司令部と岩国海兵隊の連携が促進された。

##### イ 恒常的訓練施設の進捗状況等について

12 月 7 日、8 日に防衛副大臣が地元 1 市 3 町の首長等と面談するなど、引き続き協議を進めており、今後も不断に努力していく。

航空測量調査や気象調査については、事業の進捗を見つつ、しっかり取り組んでいく。

##### ウ 厚木飛行場周辺住民及び自治体の負担の軽減策について

住宅防音工事についての平成 26 年度予算は、全国ベースで 25 年度予算を上回る額を計上している。

#### (2) 自治体からの発言

移駐までの間は、ゆっくりと落ち着いて待ってられる期間ではない。一日も早い移駐の実現に全力で取り組んでいただきたい。今後も進捗状況についての確に情報提供をしてもらいたい。

また、「空母艦載機の移駐等に関する事業推進チーム」を活用し、事業を前倒しして発注するなど、今後も取り組みを進めてもらいたい。

硫黄島に代わる恒常的訓練施設を早期に選定し、施設整備を完了してもらいたい。

住宅防音工事の対象住宅の要件を緩和するなど、騒音被害の実態に即した騒音対策の充実について早急に取り組んでいただきたい。

移駐後の厚木基地をめぐる状況も含め、地元住民は移駐に強い関心を持っている。今後とも関係自治体に対し、時宜をとらえて情報提供を行っていただきたい。

問い合わせ先

厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会事務局

(神奈川県政策局基地対策部基地対策課)

課 長 井上 (045)210-3370

対策推進グループ 浅岡 (045)210-3375